

2018年11月5日

課題名：肝細胞癌患者に対する腹腔鏡下と開腹下再肝切除術術後成績比較
-国際多施設後ろ向き研究 propensity score matched analysis-

◆研究の目的と概要◆

腹腔鏡下肝切除術は体への負担が低いことにより、背景に肝硬変などをもつ肝細胞癌の患者さんの治療に特に期待されています。しかし、このような患者様には、背景肝硬変のために手術後新たな癌が肝臓の別の場所に発生し、繰り返し肝切除などの治療を受ける必要が生じる方が多くいらっしゃいます。今後、腹腔鏡下肝切除術をこの様な患者様の利益として還元するためには、腹腔鏡下を含めて繰り返し肝切除術を施行された肝細胞癌の患者様の術後の成績とそれに影響を与える因子を明らかにする必要があります。今回、わが国のみならず世界各国の病院と協力して過去に行った肝細胞癌の患者様への手術の経過を検討し、その上でさらなる治療成績の向上を目指すことが本研究の目的です。

◆対象となる患者さん◆

2007年1月1日から2017年7月31日までの期間に当院で腹腔鏡下肝切除術を受けられた方と、開腹肝切除術を受けられた方の全例が対象です。

◆研究に使用される情報・試料◆

この研究は過去のデータを後ろ向きに調べて解析する”後ろ向き研究“であり、この研究のために新たに検査や画像診断、検体の採取などは行いません。過去に行われた手術の結果を調べて、集計、解析する研究です。

◆研究方法◆

上記の情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して電子的配信で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

藤田保健衛生大学 一般外科学講座 教授 守瀬善一医師が主体となって実施しており、下記の通り日本および世界の多くの先進施設が参加して行う国際共同研究です。

当院以外の共同研究機関

藤田保健衛生大学

上尾中央総合病院肝胆膵疾患先進治療センター

東京医科歯科大学

Department of General and HPB Surgery, Loreto Nuovo Hospital,
Italy
Hepatobiliary Division in Department of Surgery, San Raffaele
Hospital, Italy
Ghent University Hospital Medical School, Belgium
Paul Brousse Hospital, Villejuif, Universite Paris Sud France
Department of HPB Surgery and Liver Transplant, Beaujon
Hospital, Clichy, France
Pierre and Marie Curie University - Paris 6, Paris, France
University Hospital Southampton, UK
Hepatobiliary Division in Department of Surgery, San Raffaele
Hospital, Italy
Department of Liver Transplant and HBP Surgery , University
Hospital Reina Sofia, Cordoba, Spain
Tulane Transplant Abdominal Institute, Tulane University, USA
Hepato - Bilio - Pancreatic Unit of Clinica Universitaria de Navarra,
Navarra, Spain
Paris-Sud University, Orsay, France
Department of Hepatopancreatobiliary Surgery, Oslo University
Hospital-Rikshospitalet, Oslo, Norway
Institute Mutualiste Montsouris, University of Paris-Descartes, Paris,
France
Department of Surgery, University of Pittsburgh, Pittsburgh,
Pennsylvania, USA.
Upper GI Surgical Unit, Wesley Private Hospital, The University of
Queensland, Brisbane, Queensland, Australia.
Division of HBP and Liver Transplant, University of Hong Kong
Queen Mary Hospital
Division of General Surgery, Far-Eastern Memorial Hospital Taipei,
Taiwan
Department of Surgery, Samsung Medical Center Sungkyunkwan
University School of Medicine, Korea
Mayo clinic, USA
Seoul National University Bundang Hospital, Korea
Seoul National University Hospital Department of Hepatobiliary and
Pancreatic Surgery, Korea
Division of Hepatobiliary surgery and Liver transplantation, Asan

Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Seoul,
Korea
Department of Surgery and Surgical Oncology, Koo Foundation
Sun Yat-Sen Cancer Center, Taiwan

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 橋田和樹

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明